グリーンたいむ

2017-3月 vol.195

発行：グリーンコープ生活協同組合くまもと　http://greencoop-kumamoto.jp/

ささえあう熊本

地域本部や地区では、熊本地震発生後に被災者が抱えている目に見えないストレスや不安が少しでも軽くなるようにと、さまざまな取り組みを行っています。

益城地区運営委員会 主催

復興に向け、活動再開第１弾　映画上映会開催

熊本地震で大きな被害のあった益城地区で、今年度初めての取り組みとして、１月28日（土）、益城町交流情報センター ミナテラス 視聴覚室にて、映画上映会を開催しました。組合員を含む94人が参加。

上映映画「うつくしいひと」は、熊本出身の映画監督と俳優による熊本の美しい風景、街並みを舞台にした短編映画で、震災前の熊本の日常が描かれている作品です。

上映後、グリーンコープがこれまで行ってきた支援の様子を報告しました。当日はえほんバスも来て、子どもたちに絵本をプレゼントしました。

上映会の様子

●松川地区委員長より●

今回の地震で、私たちは深い傷を負いました。見知らぬ人と声をかけあって、泣くことも忘れて、無我夢中で毎日を過ごしていました。

今日の映画では、震災前の美しい熊本の自然が見られました。映画の中で「一瞬の出来事が永遠に心に残るかもしれない」という言葉がありました。熊本地震によって、なにげない日常がどんなに大事だったかと気付きました。それとともに人と人との絆や思いやりを感じることができました。

一人ひとりの力は次への大きな力となっていきます。復興に向け、地区活動再開の第１弾として今日の上映会を企画しました。次回の取り組みは地域組合員総会です。茶話会も行いますので、みんなで一緒にいろんな話をしましょう。

●震災支援報告●

災害支援センター
村上常務

地震発生直後から支援物資の配布や炊き出しをはじめ、生活再生相談や移動販売、仮設住宅でのコミュニティ作りなども行っています。これからも支援を続けていきます。

「寄り添った支援をしながら一緒に歩んでいきます」と挨拶する県央東地域本部 竹内地域理事長

絵本を選ぶ子どもたち。えほんバスは、ＮＰＯ法人「地球の楽好」が行っている活動で、全国から寄付された絵本を被災地の子どもたちに届けられています

組合員によるサロン活動を行います

仮設住宅や被災地域での引きこもり対策・生きがい作りとして、親子ふれあい遊びや手芸ワークショップなどの組合員によるサロン活動を予定しています。

◆新水俣展（仮称）　11/16(木)～12/10(日)　熊本県立美術館分館
◆サポーター会議　第４回：3/21(火)、第５回：5/23(火)、第６回：6/20(火)　19時～21時　くまもと森都心プラザ
◆キックオフ講演会２　4/22(土)　熊本学園大学 高橋守雄記念ホール
出演者：上野 真実子（水俣病患者家族）、佐高 信（経済評論家）、小宮 悦子（キャスター）

もくじ

ささえあう熊本 …… 1
遺伝子組み換え作物反対運動のまとめ …… 2
産直交流活動協議会・交流会、米沢郷牧場との交流会 …… 3
2016年度活動報告 …… 4～5
福祉活動組合員基金助成団体報告会、ワーカーズを知ろう …… 6
食育の会わくわくの取り組み、ワーカーズ、福祉委員会、組織・環境委員会 …… 7
仲間づくりの取り組み、商品トップ10、ＧＣくまもと独自品 … 8

わたしとグリーンコープ

元気いっぱい 産直たまご

単協理事　県央西地域本部
中尾 真紀

グリーンコープの産直たまごの殻は、ほど良く硬い。毎日割り続けている感触はすっかり右手が覚えていて、旅館の朝食の卵をいつもの調子で割ると失敗する。

グリーンコープに加入する前の私は、量販店の卵コーナーの前で長い時間、悩んでいた。「信用できる卵はどれ？」この迷宮から解放してくれた産直たまごは、グリーンコープの安心・安全・適正価格を象徴する商品のひとつだ。どの商品もこの産直たまごと同じクオリティだと思うと改めてすごい。巷の情報に振りまわされない選択ができるという安心感。

今日も食卓に並ぶ産直たまご料理で、家族全員「元気いっぱい！」に暮らしている。

顔の見える産直交流

グリーンコープの米や青果物を作られている熊本県内の産直生産者と組合員との間で、毎年産直交流を行っており、今年度も県内の16の生産者グループの皆さんと組合員が交流しました。年度の終わりに「産直交流活動協議会・交流会」を開催し、今年度の産直交流の報告と2017年度に向けての話し合いを行いました。

また、熊本県の生産者だけでなく、エリア外（グリーンコープがない地域）の生産者とも交流を行っています。今年度は、山梨、長野、岩手などの産直生産地を組合員の代表が視察訪問し、１月には山形県の米沢郷牧場の生産者が熊本を訪問され、交流会を開催しました。産直交流活動協議会・交流会と、米沢郷牧場との交流会の様子を報告します。

2016年度 産直交流活動協議会・交流会を開催

１月18日　桜の馬場城彩苑 多目的交流施設にて

2016年度の産直交流活動報告

（4地域本部とワーカーズが、それぞれの組み合せで１年間同じ生産者グループと交流）

今年度は４月に発生した熊本地震の影響で、予定していた田植えは全地域本部で中止となりました。生産者も被災され、産地も被害を受けたところが多々ありましたが、そんな中でも、産地に行って収穫体験をさせてもらったり、生産者に来てもらって学習交流会や料理教室を開催したりと、交流活動を行うことができ、組合員と生産者の絆をより深めることができました。

組合員およびワーカーズからの感想

報告する組合員

♥生産者の指導のもと、子どもたちは鎌を持ち稲刈りを体験。農業への関心を持つ良い機会になりました。
♥カタログの向こうに生産者の顔が見えるようになりました。
♥熊本地震や自然災害で交流活動ができるか心配な中、「こんな時こそやりましょう」と言っていただき、大人も子どもも自然の中で、心洗われる体験をすることができました。
♥安心・安全な野菜への関心がさらに高まりました。
♥生産者の高齢化が進む中で後継者がちゃんと育っておられるので、２代目、３代目を支えるためにもしっかり利用を呼びかけていきたいと思いました。e.t.c.

生産者より今年度の生産の様子を紹介

産地の様子を話す生産者

♣熊本地震の際にはたくさんの支援をいただきありがとうございました。
♣地震や自然災害により生産量が減り、欠配が多くなり、組合員さんにはご迷惑をおかけしました。
♣熊本地震で水路が決壊し、田んぼにも亀裂が入り、米の作付けができませんでしたが、来年は１日も早く水路を復旧させ、少しでも作付けできるよう頑張ります。
♣大雨による土砂崩れや長雨による日照不足など、自然災害はいつくるかわかりませんが、頑張っていきます。
♣地震で大きな被害を受け、精神的に辛く、健康面でも大変な影響がありましたが、周囲の方々と支えあっています。自分で立ち上がり（自助）、周りと助け合い（共助）、最後に（公助）で頑張りましょう。e.t.c.

2017年度の産直交流活動に向けて

	県北地域本部	県央東地域本部	県央西地域本部	県南地域本部	ワーカーズ
青果産地	佐伊津有機農法研究会 産直なごみ	阿蘇小国郷産直の会 南阿蘇ファーマーズ ゆらぎ倶楽部	御岳会 ＪＡ菊池大津 肥後七草会	やまびこ会 愛農会	風鈴会 清和有機農法研究会
米産地	ＪＡ上益城清和	ＪＡ上益城矢部	ＪＡ阿蘇小国郷	ＪＡ阿蘇阿蘇町	

上記の組み合わせで2017年度の産直交流活動を行うにあたり、顔合わせをし、取り組みの内容や時期について相談しました。

米沢郷牧場との交流会を開催

１月24日　グリーンコープ生協くまもと 本部会議室にて

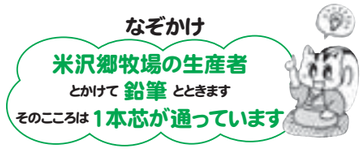
米沢郷牧場より２人の生産者が来熊され、交流会を開催しました。理事、委員合わせて33人が参加し、産地の様子や生産状況、また、自然循環型農業について話を聞きました。

生産者の横山裕一さん（左）と住吉勝美さん（右）

「米沢郷牧場は、自然循環型農業を目標にした有機農業者の組織です。米ぬかやおから、鶏や牛の糞尿等を使って堆肥を作り、それを米や青果物の肥料として使う循環型農業を行っています。鶏には遺伝子組み換えでない飼料を与えています。また、農薬を使っていないので、子どもがたんぼに入っても安心です」と話す米沢郷牧場グループのファーマーズ・クラブ赤とんぼ副代表の横山さん。

ペーパサートを行う商品おすすめ活動委員

各地域本部の商品おすすめ活動委員会から、米沢郷牧場にちなんだなぞかけやペーパサートを披露し、最後に組合員の感謝の思いをつづったメッセージ集を生産者へ贈呈しました。



STOP! 遺伝子組み換え作物

— 2016年度 遺伝子組み換え作物反対運動のまとめ —

グリーンコープは、食の安全を脅かし生物多様性を破壊する遺伝子組み換え作物に反対してきました。

くまもとでも遺伝子組み換え作物反対運動に取り組んでおり、自生ＧＭ*1ナタネ汚染調査活動は、12年目を迎えました。今年度は４月に起こった熊本地震の影響で、署名活動に取り組めないなど、例年と同じような活動はできませんでしたが、汚染調査結果を県・市町村へ報告したり、要望書を県に届けたりと、できる限りの活動を行いました。

グリーンコープ生協くまもと主催の取り組み

◆2016年度 自生ＧＭナタネ汚染調査活動を県内117ヶ所で実施、結果は全て陰性［2016年３～４月］
→組合員、くまもと生活者ネットワークやグリーンクラブ（生産者やメーカー）の方々、県議会議員などの行政関係者で取り組みました。昨年度、「遺伝子組み換え作物等に関する要望書について（回答）」に記されていたように、熊本県の職員の方が初めて調査に同行されました。

県職員が同行された自生ＧＭナタネ汚染調査活動の様子

◆自生ＧＭナタネ汚染調査結果を行政に報告（熊本県、阿蘇市、天草市、荒尾市、菊池市、合志市、玉名市、水俣市、山鹿市、菊陽町、益城町、御船町、南阿蘇村）
→理事長、地域理事長、当該の地区委員長等が行政を訪問、あるいは郵送で報告しました。八代市については代理人同席のもと、報告会を行いました。

県に遺伝子組み換え作物反対に関する要望書を提出する牧理事長

◆熊本県へ遺伝子組み換え作物に関する要望書を提出［2016年11月］
→熊本県から回答が届けられました。
「監視、調査、飛散防止のための指導については…（中略）…全国13道府県の15港で継続的に行われているナタネ類の調査を本県の港湾においても実施するよう農林水産省へ要請して参りました。その結果、平成28年度の調査から、八代港が調査対象に追加されることとなりました。…（中略）…今回調査対象となった八代港における調査結果もふまえ、国において監視、調査、飛散防止のための指導が引き続きなされるよう、要請して参りたいと考えております」（一部抜粋）

◆映画上映会「遺伝子組み換えルーレット―私たちの生命（いのち）のギャンブル―」
・県南地域本部主催［2016年10月］
→組合員をはじめ、八代女性市民の会の方々や県議会議員、地域の取引メーカーの方が参加しました。
・県央東地域本部こうし地区主催［2017年３月］

県南地域本部主催の「遺伝子組み換えルーレット―私たちの生命のギャンブル―」映画上映会の様子

グリーンコープ共同体関連の取り組み

◆2016年度自生ＧＭナタネ汚染調査報告会［2016年６月 福岡市］→くまもとから理事長、地域理事長（単協副理事長）はじめ、単協理事や地域理事等が参加しました。
◆2016年度ＧＭナタネ自生調査全国報告会［2016年７月 東京都］→くまもとから地域理事長（単協副理事長）等が参加しました。
◆non-GMO*2トウモロコシ生産者を訪問（訪米）しての視察交流［2016年９月 アメリカ］→くまもとから地域理事長（単協副理事長）が参加しました。

「non-GMOトウモロコシ生産者を訪問（訪米）しての視察交流」の様子

◆2016年ＧＭナタネ自生調査報告院内学習会［2016年10月 東京都 於：参議院会館］
→くまもとから理事長が参加しました。
◆Mams Across America アメリカ視察［2016年12月 アメリカ］→くまもとから地域理事長（単協副理事長）が参加しました。
◆第12回GMO*3フリーゾーン全国交流集会 in さが［2017年３月 佐賀市］→くまもとから理事長、地域理事長（単協副理事長）はじめ、単協理事等が参加しました。
◆「Mams Across America」代表のZenさんをお招きしての講演会 in 福岡［2017年３月 福岡市］→くまもとから理事長、地域理事長（単協副理事長）はじめ、単協理事や地域理事等が参加しました。

「MamsAcrossAmerica アメリカ視察」の様子

＊１：GM…遺伝子組み換え　＊２：non-GMO…遺伝子組み換えでない作物　＊３：GMO…遺伝子組み換え作物

地震発生から約２ヵ月後に第十六期通常総代会を開催。全議案が賛成多数で可決され、地域とともに支え合い、自らも元気になる活動をしていくことを、参加者みんなで確認し、2016年度がスタートしました。

2016年度 活動報告 組合員・ワーカー・職員、みんなで力を合わせて、地域とともにグリーンコープ運動をすすめました！

４月に発生した熊本地震で、多くの県民が被災した中スタートした2016年度。組合員、ワーカー、職員、それぞれが大変な状況下にありましたが、みんなで力を合わせて、できることを精一杯取り組みました。

活動方針に掲げた内容の変更等もありましたが、「人の絆、助け合い、支え合い」を大切に、地域に寄り添いながらグリーンコープ運動をすすめました。

仲間づくりをすすめました

地域で行われている祭りや催し、テレビ局主催のイベント等にブースを出し、びん牛乳の試飲やバナナの試食などを行い、グリーンコープをアピールしました。また、センターまつりや「ありがとう元気まつり」では、生産者やメーカーのご協力のもと、グリーンコープの商品販売等も行い、来場者にグリーンコープを体感してもらいました。

その他、保育園に出向いたり、郵便局イベントスペースを活用させていただいたりと、それぞれの取り組み時に、グリーンコープをアピールし、加入を呼びかけました。

テレビコマーシャル放映やグリーンコープの食材を使ったコラボ商品の企画販売等を行い、地域へとグリーンコープを発信しました。熊本地震の影響であまり大きくは取り組めませんでしたが、職員を中心にワーカーや組合員が一丸となって取り組み、5,275人（２月25日現在）の加入につなげることができました。

「TKUの日2016」にブースを出展

からいもフェスティバルinおおづに出展

脱原発運動をすすめました

脱原発学習会やグリーンコープでんき学習会を開催し、グリーンコープでんきの共同購入への参加やグリーン電力出資金の出資を呼びかけました。

市民発電所事業については、熊本菊池太陽光発電所、小国町の杖立温泉熱バイナリー発電所と馬洗瀬小水力発電所について事業をすすめ、小国町の事業を主体となってすすめていく「グリーンパワー小国合同会社」を設立しました。９月には馬洗瀬小水力発電所が完成し、関係各位が出席のもと竣工式を開催。１月には売電を開始しました。

2017年１月よりグリーンコープでんきの共同購入を開始しました。

脱原発学習会

遺伝子組み換え作物反対運動をすすめました

自生遺伝子組み換えナタネ汚染調査活動に今年度も取り組み、117ヶ所で調査を行い、結果は全て陰性でした。調査結果を行政に報告し、熊本県へ遺伝子に関する要望書を提出しました。例年行っていた署名活動は、熊本地震の影響で取り組みませんでした。その他、自生遺伝子組み換えナタネの汚染調査報告会や「GMOフリーゾーン全国交流集会inさが」に組合員が参加しました。各地域本部や地区では、ドキュメンタリー映画「遺伝子組み換えルーレット―私たちの生命（いのち）のギャンブル―」の上映会を行い、遺伝子組み換えについて学びました。

産直生産者や行政も同行された自生遺伝子組み換えナタネ汚染調査活動の様子

地域福祉をすすめました

小規模保育Ａ型「古町げんきの森保育園」の開園、「ゆるりの家・荒尾」の宿泊施設の増築、配食サービス「パセリ」の事業拡大のための事業所移転に向けた準備など、第四次福祉事業３ヵ年計画に掲げた事業を推進しました。

また、三里木の複合施設について準備をすすめています。

その他、地域の中で困っていることなどを話し合う場を設けたり、認知症サポーター養成講座や子育て講演会等を開催しました。

小規模保育Ａ型「古町げんきの森保育園」が開園

水俣展について

熊本地震の影響で開催が１年延期となったことに伴い、サポーター会議のみ開催しました。

ワーカーズと共にグリーンコープの事業および運動をすすめました

キープ＆ショップやお店のまつり、家計簿サークル、わくわくこども料理教室など、ワーカーズと共にさまざまな取り組みをすすめました。また、ワーカーズの働き方を理解し、一緒に働くワーカーを募るために「ワーカーズを知ろう！―私たちと一緒に働きませんか―」を開催しました。

環境にやさしいせっけんの利用を呼びかけました

せっけんメーカーを迎えての学習会を開催し、せっけんの特性について学び、また、各地域本部でせっけんモニターに取り組みました。様々な場面で利用を呼びかけ、せっけん類の利用増につなげることができました。

「ささえあう熊本」を合言葉に、震災支援活動に取り組みました

地震後すぐに「災害支援センター」を立ち上げ、グリーンコープに集うおおさかからかごしままでの14の生協と、共同体およびグリーンコープ連合が総力をあげて、支援活動を行いました。地震直後の混乱の中、組合員や地域住民から寄せられた情報等に応え、避難所への物資の調達、移動販売、出張お風呂支援、生活再生支援など、「災害支援センター」を中心にグリーンコープ生協くまもとでもできる限りの支援を行いました。

グランメッセ熊本や宇城市の避難所での炊き出し支援や移動販売支援、また、避難所生活をしている子どもたちへの支援などに、組合員やワーカーズも多数支援に入りました。６月には、熊本地震に関するアンケートを全組合員に配布し、回答された7,000近くの声に寄り添えるよう支援内容を考え、すすめました。

月日の経過と共に、避難所から仮設住宅への支援へと移り、仮設住宅を訪問して調味料やせっけんなどの生活応援セットを届けたり、被災後数ヶ月して現れるストレスや不安が軽減できるようにと、臨床心理士によるカウンセリングを企画したりと、必要とされる内容に合わせて支援を行ってきました。

また、今年度は例年９月から10月にかけて開催してきたグリーンズカフェ（秋のつどい）は行わず、８月から３月まで年度を通して、みんなが元気になれるよう、地域本部や地区主催の語り合う場など、心と体を元気にするさまざまな取り組みを行いました。10月には、生産者やメーカーのご協力のもと、たくさんの支援への感謝の気持ちを込めて「ありがとう元気まつり ―ささえあう熊本 一歩前へ―」を開催しました。その他、仮設住宅やみなし仮設住宅にお住まいの方が孤立せずに元気な日常を取り戻せるよう、他の団体とも協力してコミュニティ作り支援を行うなど、被災者に寄り添った支援を行いました。現在も継続してさまざまな支援活動を行っています。

グランメッセ熊本で炊き出し支援

礎遊びを楽しむ被災した子どもたち

フードバル熊本で開催した「ありがとう元気まつり」

食べもの運動のすばらしさを伝え、利用を呼びかけました

今年度は、特に産直国産牛利用の呼びかけに力を入れて取り組み、生産者やメーカーを迎えて学習会を開催し、安心・安全でおいしいことを学び、組合員に伝えました。

また、利用が低迷している産直びん牛乳については、製造メーカーを迎えて学習会を開催したり、レンネット実験等を行ったりして牛乳の特長を再認識し、そのすばらしさを組合員に伝えました。併せて、グリーンコープ商品が、経済効率優先に作られたものではなく、いのちを育む食べものであることを伝え、利用を呼びかけました。

生産者との産直交流を通して、グリーンコープの生産物がいかに安心・安全に作られているかを知り、生産者との顔の見える関係の大切さを実感しました。

決起集会で産直びん牛乳をアピール

御岳会の里芋を収穫するワーカーの皆さん

お店・キープ＆ショップを盛り上げていきました

地震の影響で交通網が寸断された南阿蘇に、「キープ＆ショップみなみあそ」をオープン。被災されながらも、「地域に寄り添い、地域住民の生活を支えるお店を作りたい」との、運営を担われるご夫妻の思いに寄り添い、グリーンコープのキープ＆ショップをオープンさせることができました。

お店については、今後のリニューアルに活かしていくために、お店のある３つの地域本部が、グリーンコープ生協ふくおかのお店を視察しました。また、地域の拠点としてグリーンコープを体感できるよう、まつりなども開催しました。

←「キープ＆ショップみなみあそ」オープン

元気館しみず→の夏まつり

平和の取り組みをすすめました

６人の組合員の子どもさんが「2016年度 共生・平和長崎自転車隊」に参加し、平和への思いを「不戦」のゼッケンに託し、爆心地までの約125kmを自転車で走りました。

新規加入者フォローに取り組みました

各地区にて、新規に加入された組合員へお便りを出すなどのフォローを行いました。

住民自治運動をすすめました

各地域本部にて、代理人を講師に学習会等を開催しました。

私の好きなグリーンコープの福祉

―みんなつながっている―

福祉委員　吉田 瑞紀

今年度は県央西地域本部の福祉活動委員会で「抱樸館福岡」を視察することができました。

毎月委員会で抱樸館の様子の報告を受け、「抱樸館を支える会会報」などから知っているつもりではいたのですが、実際に視察することは改めて大切だなと思いました。とても温かい人と人とのつながりを感じました。一人ひとりに寄り添った支援を知ることができました。

グリーンコープの福祉活動を知れば知るほど、人と人とのつながりを大切にしていると感じます。一人ではない、つながりがあって生きていることを感じ、人から温かな安心感をいただいています。

私も多くの人とのつながりを大切にしていきたいと思います。

グリーンコープならではの食育活動をすすめています
食育の会わくわく

「食育の会わくわく」では、五感をフルに使う子ども料理教室や、チョコレートワークショップを行うなど、活発に食育活動に取り組んでいます。

「わくわく子ども料理教室」の主人公は子どもたちです。今年は特に熊本地震で傷ついた子どもたちの心に寄り添いながら25回開催しました。最初は固い表情の子どもたちが、調理が進むにつれ、達成感に満ちた笑顔を見せてくれた時、私たちも嬉しい気持ちになりました。

他にも組合員を対象にした、「パプア産カカオホンモノの手づくりチョコレートワークショップ」は、「大人のどろんこ遊び」と称し、民衆交易の学習会をセットにしたもので、女子高生の調理実習さながらの賑やかさとチョコレートの香りに包まれた楽しい時間を過ごしました。

「食育の会わくわく」は今後も一人ひとりに丁寧に向き合ったグリーンコープならではの食育活動を進めていきたいと思います。

ワーカーズ・コレクティブ
「食育の会わくわく」
代表　花田 春子

今月の　おすすめせっけん商品はコレ!!

組織・環境委員会より

せっけんお洗濯の強い味方
「洗濯用フィトンαグリーン」

組織・環境委員　土岡 由佳

洗濯物のイヤなニオイや部屋干しにも効果的！

私のおすすめ商品は、部屋干しのイヤなニオイ、落ちにくいニオイ（運動着、くつ下、枕カバーなど）を植物成分の消臭効果により、大幅にカットしてくれる「洗濯用フィトンαグリーン」です。

洗い上がりはほのかな森の香りが広がり、着用している間も消臭抗菌効果が続き、気持ちの良い毎日が過ごせます！

“ドラム式”“全自動”“２槽式”“手洗い”で使える「洗濯用フィトンαグリーン」です。洗濯機の柔軟剤投入口に入れても大丈夫!!

「せっけん屋さんが考えた衣類のリンス」や「クエン酸」とも併用でき、本体の他、詰替用、お試し用もあります。１度使ったらきっと手ばなせない商品です。

こんにちは！ワーカーズです

労働協同組合マミー　しみず店
高見 香織

こんにちは。私は昨年２月よりワーカーとしてしみず店で働いています。店舗業務はすることが多く、時間に追われる毎日ですが、優しくておもしろい先輩方に支えて頂きながら毎日楽しく働いています。

子どもの病気で急に休む時でも先輩方は「大丈夫よ。気にしないでね」と言ってくださいますし、近くに住む両親に預けることも多々あり、本当に先輩方と両親には感謝しています。子育て中の親にとって、無理なく楽しく働ける場が必要で、私にとってそれがしみず店でワーカーとして働くことだと実感しています。

また、会議の中で自分の意見や案が通ることにやりがいを感じますし、働いて改めて商品の良さを知ることもできました。しみず店で働けて本当に良かったと思っているので、これからも地域の方々と連携して、より良いお店にしていこうと思います。

活かされています！ みんなの100円

2016年度福祉活動組合員基金助成団体報告会を開催
～『明日につながるわたしの100円』～

2/17
くまもと県民交流館パレアにて開催

福祉活動組合員基金助成団体報告会を、一般財団法人グリーンコープ生協くまもと福祉活動組合員基金理事会およびグリーンコープ生協くまもと理事会主催で開催しました。助成審査にあたった基金運用委員会および助成を受けた各団体から報告があり、組合員が拠出した100円が地域福祉に幅広く活用されていることを、参加者みんなで共有しました。

基金運用委員会より、審査の様子を報告

「地域団体の審査については、例年、前期と後期に分けて行っていますが、今年度は熊本地震の影響で、全て後期に行いました。委員会で書類審査、面談、視察を行い、助成の可否について厳正に審査しました。『福祉活動組合員基金とは』『助成に相応しい項目とは』を考え、悩み、話し合い、助成を見送る苦渋の判断をした団体もありました」と、基金運用委員会より報告。

基金運用委員長の生田裕美さん

グリーンコープ生協くまもと理事会関係、社会福祉法人グリーンコープ関係、ふくしワーカーズ連合会くまもと関係、子育て支援ワーカーズくまもと連合会関係より報告

子育て支援、家計とくらしの応援活動、食育活動、ファイバーリサイクル事業、地域のたすけあい活動、ワーカーズ人材育成などについて、基金を活用することで活動の質の向上が実現できていることなどを報告。また、熊本地震で甚大な被害を受けた「げんきの森こども園」の被害状況や、助成金を修理費に活用したことなどを報告しました。

報告する各項目の代表者

地域本部50万円枠については、地域の課題を地域理事会で十分に検討し、講演会開催等に活用したことを報告しました。

地域団体13団体より報告

各地域団体が取り組まれている、高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、生活困窮者支援、などの活動の様子が実演や画像を用いて紹介され、活動のさまざまな場面で基金が有効に活用されていることが報告されました。

また、熊本地震発生後、行政だけでは行き届かない部分の震災支援を行った団体もあり、地域福祉の充実に向け、取り組まれている様子も報告されました。

地域団体の皆さん

参加者の感想

・地域に根ざし、さまざまな活動をされている団体がこんなにあると知り、驚きました。
・私たちの100円が、地域福祉に幅広く役立てられていることがよくわかりました。

あなたもワーカーズになりませんか

「ワーカーズを知ろう！―私たちと一緒に働きませんか―」

2/17
くまもと県民交流館パレアにて開催

各ワーカーズよりアピールを行い、その後ワーカーズ毎にブースを設け、個別相談を受け付けました。

ワーカーズコレクティブ
くまもと連絡協議会代表
川上 玲子さん

ワーカーズは、出資・運営・労働の３つを基本に、やりがいを持って日々業務に邁進しています。子育てをしながら、介護をしながら、いろんな自分のライフスタイルも大事にしながら仕事ができる職場です。働き方も自由で、みんなで協力して運営しています。

どのワーカーズも、次の担い手にバトンを渡す時期にさしかかっています。皆さん、ぜひワーカーズになって一緒に働きましょう！」

お　店

地域に根ざしたお店をめざしています

子どもたちの未来のために、地域に安心・安全な食べものを届ける環境をつくり、幸せな暮らしを守りたいあなたを待ってます。

子育て支援

子どもたちの笑顔に癒されますよ

託児やベビーシッター、子育てひろばの運営、園児の保育等が主な仕事内容です。子どもが大好きな方をお待ちしています。６月には「麻生田げんきの森保育園」が開園します。

助け合い、支え合っている職場です

配送はもちろん、キープ＆ショップや、ゆう＊あい事業も担っています。委員の皆さん、ぜひ共同購入ワーカーになって、経験を活かしてください。

共同購入

基本理念は「共に生きる」です

来春には県内３ヶ所に事業所開設を予定しており、ワーカー大募集中です。「人と人との共生」を実践できる場に、ぜひ、あなたも仲間入りしませんか。

福　祉

取り組みに参加して、グリーンコープをアピール！

「子育てすくすく☆こども博」に出展

1/28(土)、29(日)
宇土シティモール特設会場にて

会場にブースを設け、組合員、ワーカー、職員が産直びん牛乳などの試飲やバナナの試食を呼びかけ、試飲は２日間で約4,800人の方にしていただきました。ペダルもブレーキもない自転車に試乗する「GOGOライダー！」に参加した子どもたちに、グリーンコープのお菓子セットをプレゼント。ブース前には長蛇の列ができ、バナナは両日ともお昼過ぎにはなくなり、最終日には時間前にすべてなくなるほどの大盛況でした。

◀試飲や試食、ガラポン抽選会のコーナーは、行列ができるほどの大賑わい

お菓子を貰ってにっこり♪

元気くんも登場！

「グリーン電力出資金」グリーンコープ生協くまもとの出資状況

1/15～1/26の間に増えた出資額
180,000円

累計 120,609,000円
目標 316,533,186円

おたより募集!!

グリーンコープに関することなら、何でもOK。お名前と連絡先(電話番号)を明記のうえ、下記住所までお送りください。FAXでも結構です。掲載された方にはグリーン券（500円）を進呈。

カタログGREEN45号で注文が多かった商品トップ10（予約品を除く）

1 冷凍生水餃子
2 生しいたけ（菌床）
3 ブロッコリー
4 うすあげ
5 すずまる小粒納豆（たれ付）
6 阿蘇の伏流水を使った絹豆腐
7 なめらか豆腐
8 人参
9 もめん豆腐
10 ミックスチーズ

GCくまもと 独自品

くまもとのおいしさを お届けいたします

●申込書提出日：3月27日(月)～4月 1日(土)
●配 達 日：4月10日(月)～4月15日(土)

ご注文は２号注文書で！
特別申込欄に４桁の注文番号をご記入ください。

●東アジア共生コーヒー「ラオスの薫り」

ラオス南部のボラベン高原の、標高1100～1300mでコーヒー生産に適した豊かな土壌と気候に恵まれた地域で育てられ、ひと粒ひと粒手摘みで収穫し、丁寧に果肉を取り除き乾燥、選別作業をしています。

※商品代の一部は、環境に優しい自然エネルギーの太陽光発電パネルを、東アジアの村々に設置するために使われます。

(豆) 200g 820.80円 (本体価格760円) 9372 月1回
(粉) 200g 820.80円 (本体価格760円) 9373 月1回

●釜炒り矢部茶（農薬不使用）

矢部町の通潤農園で栽培された茶葉を使用。

100g 583.20円 (本体価格540円) 9354 月1回

●ブルーベリーサワー

蘇陽高原産の完熟ブルーベリーを使用。甘さ控えめ。

720mℓ 864.00円 (本体価格800円) 9356 月1回

●ブルーベリージャム

蘇陽高原産の完熟ブルーベリーを使用。

180g 486.00円 (本体価格450円) 9353 月1回

●こいくちしょうゆ

旨み成分たっぷりの本醸造醤油。ブラジル産nonGMO脱脂加工大豆使用。

1.8ℓリットル 583.20円 (本体価格540円) 9362 月1回

●なたね油

国産(一部オーストラリア産)の種子を圧搾法で搾り、湯洗いのみで精製。

1.65kg 1009.80円 (本体価格935円) 9363 月1回

●国産紅茶（農薬不使用）

水俣の山間地で無農薬栽培された緑茶用茶葉を使用。

80g 486.00円 (本体価格450円) 9355 月1回

●支援コーヒー(豆)

ブラジルのジャカランダ農園でつくられた有機栽培コーヒー。チェルノブイリ原発事故による病気で苦しむ子どもたちへの救済カンパ100円が含まれています。

200g 1065.96円 (本体価格987円) 9360 月1回

●支援コーヒー(粉)

200g 1065.96円 (本体価格987円) 9361 月1回

編集者だより

熊本地震から、約11か月。通勤する道も櫛の歯が欠けたように空き地が増えた。道路の手前にあった家がなくなり奥が見え、家並みも変わった。きっと空き地にも新しい家が建つのだろう。復興の息吹を感じる。

春から大変お世話になった広報室の先輩方が去っていかれる。寂しい思いと、伝える記事を書くことの難しさを痛感している。きっと広報室にも新しい息吹が…。（平野）

もしもし電話コーナー

お金の問題で困っていませんか？
まずはお電話下さい
生活再生相談室
☎096-243-2100
開設曜日…月曜～金曜
第３週は月曜～土曜
開設時間…９時30分～18時

ふくし情報でんわ
フリーダイヤル 0120-540-294
開設曜日…月曜～金曜(祝日は休み)
開設時間…10時～16時
携帯電話の方は 096－337－7226

グリーンコープ葬祭サービス
24時間受付・年中無休
フリーダイヤル 0120-222-782
「自然庵」との協働事業です。葬儀だけではなく、相続問題やお墓、供養、法事についての相談なども受け付けています。

GREEN くらしアップ情報誌「くまもと」
フリーダイヤル 0120-51-8141
住宅リフォーム、エアコンクリーニング、引越しなどについてはお気軽にご連絡ください。

発行 グリーンコープ生活協同組合くまもと
発行責任／理事会
編 集／広報室
発行所／〒860-0056
熊本市西区新土河原2丁目1-1
☎ 096-324-8118㈹
FAX 096-324-8123
印刷所／ホープ印刷㈱

■県北地域本部 13,329名
■県央東地域本部 26,411名
■県央西地域本部 16,689名
■県南地域本部 7,223名
合 計 63,652名
（２月20日現在店舗組合員を含む）

グリーンコープくまもとのホームページ（http://greencoop-kumamoto.jp/）に最新情報更新中！
是非アクセスしてください。携帯電話は、こちらのＱＲコードよりアクセスできます。➡